



自分ができることを選んでいたら、土木が残ったと語る生駒さん。三井共同建設コンサルタントに入社して10年目。設計したものが形になる、そのシンプルな喜びが仕事の原動力だ。技術士の資格を取得し周囲からの期待も高まる中、後輩の育成も任せ始めた。経験値が増えるほど、課題や問題点も見えてくる。生駒さんの今後の目標などを伺った。

●技術職を選んだきっかけ

志望大学を選ばずに、高校の先生に勧められたことがきっかけです。自分が行きたいところ、できることを考えたらず土木が残りました。大学の授業で学ぶ社会インフラの現状や課題は、想像以上に身近なものでした。その中で、橋梁やダム等の大型構造物を間近で見たワクワクは、今でも記憶に残っています。

建設コンサルタントを選んだ理由は、自分の描いた図面が実際に構造物になるまでを見たい、技術力次第で女性でも活躍できる場だと思ったからです。この気持ちは今でも変わりません。業務の確認も含めて、自分が設計に関わった構造物は、できるだけ見に行くようにしています。

●現場の魅力や責務

河川に関わる施設(堤防・樋門等)の設計をしています。仕事の魅力は、設計したものが施工される、その喜びに尽きます。もちろん、業務がスムーズに進まないときもあり、気持ちが悪く砕かれる時もあります。けれど、設計で工夫したところがそのまま施工されたり、工事に携わった方々の丁寧な仕事を見ると、嬉しく思います。

近年は洪水の発生、頻発する地震など環境の変化が大きい。災害から地域や住民を守り、安全・安心に暮らせるような設計が責務だと感じています。

●仕事のこだわりやポリシー

徹底しているのは、問題点をそのままにせず、自分で調べる、また先輩・上司に聞くことです。それは、苦い経験が元になっています。当時の私は解析の理論や仕組みを、完全に理解しないまま進めていました。確認すればいいところを「大丈夫」と思っていたのです。ところが、完成間近にミスが発覚。設計をやり直す事態に。幸いにも工期前で、修正対応ができましたが、自分の甘さが、周囲にどれだけ影響を与ええるか実感しました。それからは、問題や不透明点はすぐ

担い手シリーズ 22

# つまずきは成長のカギ 失敗を経験して 考え方や行動を転化

生駒 有紀 入社10年目(技術士)  
三井共同建設コンサルタント株式会社



●印象的な仕事

に解決するように心がけています。

入社2年目に担当した白川(熊本県)の築堤設計です。平成24年の九州北部豪雨で被災した箇所ので築堤ですが、景観や利用性を加味する設計のため定型業務とは違う多くの学び・気づきを得られました。特殊な仕事だけに、発注者以外に他コンサル、大学の先生や生徒、施工会社、地域住民等、今でもこれだけ多数の関係者が携わる業務は経験がありません。地域の方とのワークショップ、地元説明会、月1回の景観検討会の参加等は、議論を重ねるごとに、内容が充実し、より良いものに改善される過程を体験できました。

●今後の目標

昨年技術士に合格しましたが、資格を取得しても技術は日進月歩。専門分野の学びを怠らず、今後は管理技術者としても業務を遂行したいと思っています。

少しずつ女性技術者も増えてきましたが、離職者が多いのも事実です。理由のひとつとして、残業時間が挙げられます。ただ、働き方改革もあり、業務の効率化や有給取得を義務付けるなど、行政や組織の対応も多様になりました。土木工事は地域や社会貢献が高い仕事です。それだけ責任は伴いますがやりがいも大きい。せつかく芽生えた土木への興味を育ててほしいと思います。



生駒有紀(いこま ゆき)  
久留米出身。佐賀大学都市工学科卒業。平成23年4月 三井共同建設コンサルタント(株)入社

会社概要  
三井共同建設コンサルタント(株)  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東  
2-14-1 スフィクスセンター9F  
TEL. 092-441-3941 FAX. 092-473-7789  
<https://www.mccnet.co.jp>